

(回答 / 職員 9名・児童発達支援管理責任者 1名)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	適切なスペースの確保をしています。パーテーションや移動式スケジュールを活用し、限られたスペースをより適切に活かせるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	0	基準の配置数を超えて配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	0	部屋の構造化や視覚提示など必要な手立てをしています。また、子ども一人一人の発達に合わせた伝え方を工夫し、子どもが自分で納得して自分で行動する力を引き出せるよう関わっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	毎日掃除をして清潔を保っています。また、子どもたちが活動しやすいように活動内容に応じた空間のレイアウトにしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	0	定期的に振り返りができる機会を作っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	評価表を基に保護者の意向や要望等を把握し、必要に応じて業務の改善につなげられるよう努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	ホームページで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	0	定期的に外部のスーパーバイザーを招いて療育の様子を見てもらい、アドバイスをもらっています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	必要な専門性や支援力の向上を目的として、年間を通した研修への参加を計画しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	定期的にあセスメントをし、適切な分析のもと支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	0	使用しています。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	0	児童発達支援ガイドラインに沿った支援計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	主担任を中心に各クラスで相談をしながら活動プログラムの組み立てをしています。また、季節の行事に合わせた活動プログラムは、クラスを分けずに全体で企画しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	1週間単位もしくは1か月単位での活動プログラムを考え、定期的に変化をつけるようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	10	0	子どもの年齢や発達に合わせた取り組みを支援計画に反映させています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	朝の会で必要な情報を共有しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	夕の会でその日の様子を報告し、情報を共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	支援計画に基づいて記録をとり、支援の検証をしながら見直しが必要なことはすぐに改善できるように取り組んでいます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	定期的に見直しをしながら支援計画の作成をしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。可能であれば各クラスの担当職員も一緒に参加し、情報の共有をしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	必要に応じて連携をとっています。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			現在、日常的に医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用はありません。利用があった時には、関係機関と連携を取りながら支援をしていこうと考えています。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			現在、日常的に医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用はありません。利用があった時には、関係機関と連携を取りながら支援をしていこうと考えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	引継ぎシートを作成して保護者に渡し、可能であれば支援会等への参加をしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	引継ぎシートを作成して保護者に渡し、可能であれば支援会等への参加をしています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	0	専門機関が開催する研修に参加しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	8	保育園や幼稚園とあゆみの並行通園をしているお子さんが多く、あゆみとして他の保育園や幼稚園と一緒に活動する機会は作っていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	3	参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	連絡帳や送迎時にその日の子どもの様子を伝えあい、共通理解を持てるように努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10	0	行っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	契約時にできる限りわかりやすく説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	子どもの発達に合わせた支援のねらいを丁寧に説明し、保護者の同意を得たうえで支援計画の作成をしています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	必要に応じて行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	4	今年度はコロナウィルス感染防止対策のため、積極的な集まりの開催を控えてきました。また、開催できる日を楽しみにしています。

保護者への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	できるだけ迅速かつ適切に対応するようにしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	4	プライバシー保護の観点から会報等の発行が十分にできておりませんが、来年度は「あゆみ」での取り組みなどについて皆さんにより発信できるよう努めていきたいと考えています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	注意しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	子どもや保護者それぞれに合わせた伝え方を心がけています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	10	今年度はコロナウイルス感染防止対策のため、外部との関りを極力避けました。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	0	非常災害時の避難訓練は月1回実施しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	月1回 火災・風水害・地震を想定した避難訓練を実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0	医師の指示書に基づいた対応をしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	ヒヤリハットや簡易なけが等を発見した時には、その都度記録し職員間で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	定期的に虐待に関する研修等をし、虐待防止の意識づくりをしています。また、虐待につながるような関りをしていないか自分や周りの支援を振り返る機会を作っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	0	契約時に、身体拘束や虐待についての「あゆみ」の姿勢を説明しています。現在のところ身体拘束を行わなければならない状況になる子供はいません。